

日立工業会報

第13号
 平成18年1月10日
 発行 日立工業高校同窓会
 発行者 同窓会事務局
 日立市城南町2-12-1
 ☎ 0294 (22) 1049
 FAX 0294 (21) 4591
 印刷所 協立印刷
 ☎ 0294 (35) 7857

会長挨拶

同窓会会長 長谷川 宏



同窓会の皆様にはいつも大変お世話になっております。新聞報道などでも既にご存知のことと思いますが、この度、日立工業高校では県内の工業高校としては初めて、文部科学省の指定を受け、日本版デュアルシステムを授業に取り入れることになり、今年度より実施しております。これは卒業後の就職先での即戦力を計ると共に、日本の伝統ある高い工業技術力を維持し、伝承させる目的のシステムで、二年生になると、毎週木曜日は県内の工場に出向き、その工場において実践に即した実習を行い、

技術、技能を修得するものです。

これにより本人の技能、技術力のアップはもとより、就職活動にも有利になると考えられますので、学校のこのシステムの取り組みに対し、同窓会としても全面的にバックアップしていく所存でありますので、よろしくご理解の上、ご協力のほどをお願い致します。

また、同窓会の日立市議会議員永山堯康氏におかれましては、今春、日立市議会の議長に就任されました。同窓会としても、この慶事を皆様と一緒に喜びたいと思えます。

地方行政の改革などが叫ばれている現在、県北の雄であり、県内でも非常に影響力の大きい、日立市議会の舵取りに就任されることは、意義の深いものと思えます。激動のこの時期に、議長の要職に乞われることは、氏が議員の間で、いかに信任が厚いかということの証明であると思えます。どうか身体に十分気をつけて、今後、益々

ご活躍なされることを祈念致します。

学校長挨拶

学校長 鈴木 茂



同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、常日頃より母校の教育活動につきまして、多大のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、母校の近況をご報告させていただきます。まず今年度の進路状況です。産業構造・就職構造の変化により、近年高校生の採用枠は狭まっておりませんが、ここにかけて景気が回復傾向にあることから、今年度の求人は昨年度に比べ大幅に増えております。就職希望者一〇五人に対し、八月末現在の県内求人数は二四八人、県外を含めると四六九人となり、求人倍率は四・四七倍という高い倍率に回復しました。十一月末現在の就職

内定者も九六人、内定率九一・四%となり、若干名を除いてほぼ確定しました。これも同窓会の皆様の社会での高い評価の賜と感謝申し上げる次第です。一方進学についても、短大を含め大学希望者三五人、専門学校四一人が合格し、若干名が希望の実現を目指して頑張っている状況です。特に今年度は、茨城高専の編入試験で二名の合格者を出すことができました。

次に、文科省から三年間の研究指定を受けた「日本版デュアルシステム」推進事業の企業派遣実習については、二年生の希望一八名が、五月から来年の二月まで毎週木曜日市内の一四の企業に分散して実習を行います。現在全員が会社の仕事は厳しいと言いながらも、元気に一生懸命実習に取り組んでいます。同窓生の皆様にはインターンシップと共にデュアルシステムでもお世話になっております。今後ともご協力の程よろしくお願いたします。

続いて部活動関係ですが、今年度は陸上競技部が三年連続の関東大会出場という快挙でしたし、バドミントン部が創部以来初めて関東大会出場を果しました。電気工事コンテストでは県大会優勝で関東大会出場、省エネカー燃費競技大